

さちしお

SACHISHIO
Vol.156
2026 Jan.

赤十字血液センターだより 「血液事業をとおして、みなさまの幸せに貢献する」との願いを込め、
幸せの「幸(さち)」と「血潮(ちしお)」を組み合わせ、名付けられました

石川県内の献血者数累計 350 万人を達成！

石川県赤十字血液センターでは、昭和40年1月の献血開始以来、多くの県民の皆さまにご協力いただき、献血者数累計350万人を達成しました。この節目を記念し、令和7年12月19日、献血ルーム「ル・キューブ」にて記念式典を開催しました。350万人目の献血者となったのは、金沢市内の駒崎 大貴さん。駒崎さんは「体が元気なうちは、これからも献血に協力していきたい」と話してくださいました。長年にわたり献血にご協力いただいている皆さまに、心より感謝申し上げます。これからも安全で安定した血液の供給に努めてまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。



石川県内
献血者350万人達成！

Thank you !! 3,500,000 blood donors



年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様には日頃より献血へのご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

石川県では、過去10年間、毎年約4万3千人から4万6千人もの方々が、献血バスや固定ルームで献血して下さっています。これは、16歳から69歳までの献血可能人口の約7%に当たります。私はこの5年間、血液センターの所長として献血者の健診に携わってきました。健診業務の際にいつも感じるのは、献血者の

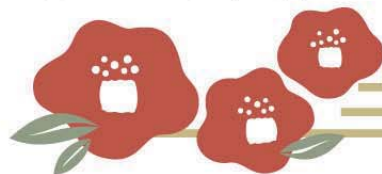
皆様が、病気やけがで苦しむ方々の役に立ちたいという優しい心を持った気持ちの良い方ばかりだということです。「今日も献血に来て下さってありがとうございます」とお礼を述べると、「こちらこそありがとうございます」と笑顔で答えて下さる方もいらっしゃいます。そのような笑顔に触れると、とても幸せな気持ちになりますし、自分自身も「何か人に役に立つことをしなければ」と心を新たにします。献血には、病気の方を助けるだけではなく、周りの人々をも元気にする不思議な力があると感じています。

一方で、最近心配していることがあります。能登半島地震から2年が経過し、被災された方達への関心が薄れつつあるためか、献血して下さる方が昨年に比べてやや減少しています。輸血は、災害時などの突発的な出来事に限らず、慢性疾患の治療のためにも常に必要とされています。この小冊子をお読み下さった皆様には、人を幸せにする「献血の輪」を令和8年にはさらに広げていただけますよう、心よりお願い申し上げます。



石川県赤十字血液センター 所長

中尾 眞二



令和7年度 陸上幕僚長感謝状を拝受しました

このたび当センターは、陸上自衛隊に対する長年の貢献が評価され、陸上幕僚長感謝状を拝受しました。本来は所定の式典において授与されるものですが、本式への出席がかなわなかったため、当センター応接室において、自衛隊石川地方協力本部長より感謝状の伝達を受けました。陸上幕僚長は陸上自衛隊の最高位の幹部であり、本感謝状は特に顕著な功労のあった個人・団体に授与されるもので、このたびの拝受は、当センターのこれまでの取り組みが評価されたものと受け止めております。当センターでは現在、11名もの陸上自衛隊出身の職員が勤務しており、その雇用受け入れは40年以上にわたり継続しています。自衛隊で培われた経験や規律意識は、業務運営や安全管理、災害対応などの面で大きな力となっています。今回の感謝状拝受を励みに、今後も陸上自衛隊との良好な連携関係を大切にしながら、地域医療と社会への貢献に努めてまいります。



かね まる ゆ み こ
金丸由美子さん
(かほく市在住)



献血は身近にできるボランティアであり、人助けになることが嬉しかったです。今後献血に行けないのは寂しいですがこれからも周りの人に献血を働きかけていきたいです。
ご夫婦でたくさん献血にご協力いただきありがとうございました。

最後の献血

石川県立金沢西高等学校
フェンシング部+顧問の先生

みんなで献血

昨年に引き続き、団体献血にご協力いただき、誠にありがとうございます。現在、若年層(10~30代)の献血者数は減少傾向にあります。少子高齢化が進む中、将来の安定した血液の確保・供給には、若い世代の協力が欠かせません。ぜひ、ご友人やご家族と一緒に献血にご参加いただき、命をつなぐ輪を広げていただければ幸いです。



採血前検査室にて患者様からのメッセージを掲示しております。ぜひご覧ください。

初めての

献血セミナー in 内灘中学校

献血ルーム くらつき

令和7年11月26日、内灘町立内灘中学校で初めて献血セミナーを実施しました。当日は3年1組の生徒約40名と先生2名が参加し、皆さん熱心に耳を傾けてくれました。セミナーでは、献血の仕組みや重要性について説明し、多くの質問が寄せられました。積極的な姿勢に、担当した職員もとても嬉しく感じたようです。今回のセミナーを通じて、若い世代に献血への理解が広がることを期待しています。

石川県赤十字血液センターでは、健康といのちの大切さを学んでいただく取り組みの一環として、輸血医療を支える献血について知識や理解を深めていただくため、広く県民の皆さま、特に10~30代の皆さまを対象とする『献血セミナー』を実施しています。

Check

●詳しくは 石川県赤十字血液センター 献血推進課
TEL:076-254-6372(直通、平日9時~17時)



見学会を実施

学術情報・供給課では、兼六中学校の生徒の皆さんを対象に、石川県赤十字血液センターで勤務する薬剤師の役割を紹介する見学会を実施しました。当日は、薬剤師が担う業務や責任について詳しく説明し、実際に取り扱っている血液製剤を間近で見学していただきました。



学校の授業ではなかなか触れることのない血液や医療の現場を体験することで、生徒の皆さんからは「血液製剤の管理がとても重要だとわかった」などの声が寄せられました。

今回の取り組みは、医療や献血の重要性を理解していただく貴重な機会となり、血液事業への関心を高めるきっかけになったと感じています。今後も、こうした学習機会を通じて、献血に協力してくれる若い世代が増えることを期待しています。

Special
Thanks

安田商事株式会社様より 新米をご寄贈いただきました



令和7年10月16日、金沢市の安田商事株式会社様より、石川県産「ひやくまん穀」オリジナルパッケージ入りの新米をご寄贈いただきました。献血記念品としての新米の寄贈は今回で11回目となります。

いただいた新米は、固定施設「献血ルーム ル・キューブ」「献血ルーム くらつき」の2か所にて、平日に献血へご協力いただいた方へ進呈しました。

皆様から大変好評をいただき、多くの方に献血のご協力をいただくことができました。安田商事株式会社様の長年にわたる温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

秋の献血キャンペーンを開催しました！

献血ルーム「ル・キューブ」では、日頃の献血ご協力への感謝を込めて、令和7年11月11日～16日の6日間、「秋の献血キャンペーン」を実施しました。期間中、多くの皆様にご来場いただき、盛況のうちに終了しました。イベントでは、石川ミリオンスターズと学生ボランティアによる呼びかけ活動をはじめ、石川県理容美容専門学校ボランティアの皆様によるネイルケア、POLA THE BEAUTY様による女性限定ハンドマッサージ、さらに石川県栄養士会様考案の「鉄分が摂れるコロコロあんドーナツ」試食会を実施し、どれも大変好評でした。

また、期間中に献血へご協力いただいた方には、食パン一袋をプレゼントしました。

ご来場いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。今後も皆様に喜んでいただける企画をお届けしてまいります。



特に
平日!!

血小板献血ご協力をお願い

血小板製剤の安全性をさらに高めるため、採取した血小板の一部を培養し、細菌の増殖の有無を確認する「細菌スクリーニング検査」を導入しました。

この検査の実施に伴いこれまで以上に平日の血小板献血のご協力が必要となっています。

また、採血に通常よりお時間をいただく場合がございます。

皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

